

北米（ロサンゼルス）の現況について



6/15（火曜）

ロサンゼルス / ロングビーチの両港湾の深刻な混雑について、現在も改善の兆しがみられず、先週もロサンゼルス / ロングビーチ港の沖合では 20 隻位の本船が待機している状況でありました。それに伴い、本船の遅延も慢性的に発生している状況です。一部船社筋の話では、この状況が改善しないままクリスマス商戦の貨物が入港してくる時期に入ってしまうのではとの懸念が聞かれます。

カルフォルニア州では 6 月 15 日から全面的に経済が再開される方針で、現在はマスク着用が義務付けられておりますが、6 月 15 日からはマスク着用の義務も解除となります。ワクチン接種に関しても接種率の伸び悩みの打開策として、カルフォルニア州では様々な手法でワクチン接種を促進させています。

7/1（木曜）

ロサンゼルス・ロングビーチ港では、沖合で待機中のコンテナ船がここ 2 週間で 10 隻程度までと徐々にですが改善がみられています。その一方でオークランド港では、沖合待機が 25 隻程に増えており、混雑が更に悪化しています。来週には、7 月 4 日の独立記念日と 5 日の振替休日を控え、ターミナルの荷役が停止することになり、記念日前後は荷役の稼働率が落ちる傾向にあるため、再びターミナル混雑が再発する可能性を帯びています。

これらの影響もあり、内陸向け貨物が多く滞留している状況で、鉄道の貨車不足が深刻であり、内陸部でも特に中西部シカゴでかなりの混雑がみられ、シャーシ不足の影響で貨物のピックアップに通常より時間を要しています。